

鶴岡市ボランティアセンターだより

発行・お問合わせ
鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市ボランティアセンター
〒997-0033 鶴岡市泉町 5-30
Tel: 23-2970 Fax: 23-9110
E-mail: shk-vol2@shk01.jp

コロナ禍でも 各学校で福祉教育

福祉学習助成金交付事業

子どもたちの「福祉の心」「おもしろい心」を育てるため、小・中学校、高等学校（高専含む）及び特別支援学校が行う地域に根ざした福祉学習、ボランティア体験学習に対して助成金を交付し、学校の取組みを応援しています。

（申請があった学校へ年 30,000 円以内）



令和2年度は18校に助成！

新型コロナウイルス感染症予防の影響で、昨年度の前半は学校の閉鎖や事業の中止等がありました。また、直接学校外の人たちとふれあう機会をつくれなかったり、例年福祉学習を実施してきた学校が残念ながら取組を見送ったところもありました。

ただ、そんな中でも市内 48 校中 18 校から助成金の申請があり、様々な学習に取り組んでいただきました。

活動の中から紹介(一部)

密にならずにできる内容で実施

上郷小学校では、感染症予防のため例年実施してきた内容ができず、新たな内容も取り入れて福祉学習を行いました。
(3年～6年生)

▶ 聞こえないことを理解する学習



生徒が届ける「手作り弁当」

加茂水産高校では、加茂地区自治振興会・地区社協と連携し、一人暮らし高齢者の方々へ心を込めて作った弁当を1軒づつ届ける活動を毎年行っています。

▶ 心を込めてお弁当を作っています



No	学校名	R2 年度実施事業名 (概要)
1	朝陽五小	総合的な学習「わたしたちができること」(障がい理解する講座、体験等)
2	黄金小	福祉・ボランティア学習 (配食サービスへの手伝い、コミセンやバス停の清掃等)
3	大泉小	鶴岡養護学校・大泉保育園との交流学習(動画による間接交流、作品や手紙等の交換交流等)
4	上郷小	福祉学習(3・4・5・6年生対象に、障がい・高齢を理解する講座、体験等)
5	湯野浜小	心の学習(湯野浜思恩園等への手紙やプレゼント、お世話になっている人へ感謝の会、ボラ活動等)
6	豊浦中	福祉体験学習(福祉施設へのメッセージづくり、地域の防災ボランティア活動や地域イベントへの参加等)
7	藤島小	すずかけ運動と福祉交流活動(学校周辺の清掃、日頃お世話になっている人へ感謝の手紙等)
8	渡前小	ボランティア活動(一人暮らし高齢者へメッセージカード送付、栽培した柿、米のプレゼント等)
9	櫛引東小	おだがいさまの心を育む福祉学習(障がい、高齢を理解する講座、体験、障がい者スポーツ理解等)
10	櫛引南小	高齢者との交流(地域の高齢者へ手紙送付、りんご学習で収穫したりんごのプレゼント等)
11	あさひ小	「豊かな心 思いやりの心」育成事業 (保育園児や地域の高齢者との交流、福祉について、かたくりの子四つの運動等)
12	あつみ小	愛寿園との交流、あたたか弁当包み紙作成 (学校祭当日の動画 DVD や手作品プレゼント、包み紙づくり等)
13	温海中	ボランティア活動推進事業(青少年ボランティア養成講座参加、愛寿園で作品展示、コロナ禍での差別や偏見に関する福祉講話等)
14	鶴工高	高齢の歩行者に対する自作の反射板の提供(交通安全反射キーホルダー260個を老人クラブへ提供)
15	鶴中央高	障がい者の生活の理解と交流(グループに分かれて聴覚障がい者との交流等)
16	加茂水高	手作り弁当の配布(70歳以上の一人暮らし高齢者への配食活動。実習で製造した缶詰(マグロ油漬・冷凍ズワイガニ)使用。)
17	鶴東高	地域奉仕活動・各種ボランティア活動 (海岸清掃、学校周辺等の除雪、ゴミ拾い・清掃等)
18	鶴高専	農福学連携「月ひまわり畑」の特産品開発 (農家、障がい者施設との連携。学生の、地域福祉・障がい者理解を推進する。)

◎助成金を申請していない学校でも、様々な福祉教育に取り組んでおります。

令和3年度の学習もスタート(5月)

櫛引東小4年生

にこ♥ふるで、福祉・障がい・バリアフリーを理解する学習

第三中1年生

車いすでの生活を理解する学習
発達・知的障がいを理解する学習



▶ にこ♥ふる内外のバリアフリーを探してみたい(櫛引東小4年生)

地道な活動を応援しています！

～ボランティア団体活動等助成金事業～

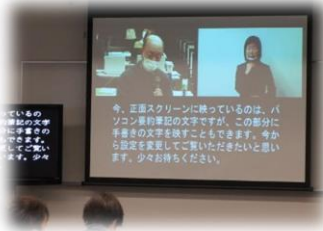
令和2年度 7団体に助成！

ボランティア活動は、人と人とがふれあう場面が多く、コロナ禍で活動の機会がなかった、又は大幅に減ったという個人や団体がたくさんありました。そのような状況の中で、工夫をしながら活動を続けたり新たな活動に取り組んだ団体もありました。助成金交付事業は、ボランティアセンター登録団体を対象に行っており、令和2年度は計8団体（一般6、学生サークル2）から申請があり交付しました。

《助成金交付要綱より》
 助成対象：鶴岡市ボランティアセンター登録団体
 助成金額：年 20,000 円以内
 助成期間：同じ活動に 3 年間
 （学生サークルは年数制限なし）

No	団体名	R2 年度実施事業名(概要)
1	サロンおはなしの部屋	読み聞かせスキルアップのための研修会等(絵本研究、手遊び、素語り等)
2	つるおかオレンジサポートの会	認知症の人と家族を支援する活動(サポーター養成講座開催、認知症カフェ協力等)
3	NPO 法人日本国 末端技術研修所	大人のものづくり活動立ち上げ(鶴岡少年少女発明クラブへの協力者育成、ものづくりを通じた居場所等)
4	パソコン要約筆記 「はなまる」	聴覚障がい者の情報保障のためのマルチ表示の研究(話者、手話通訳、要約筆記文字の同時表示等)
5	みんな食堂 の野	みんな食堂の野(母子・父子家庭へ低額で食事提供、テイクアウト等) ※コロナ禍でなければ交流会等も
6	羽黒地域中学生・ 高校生ボランティア	できるときにできることを！地域に根ざした活動を目指す(講師を招いてボランティア研修、親睦会等)
7	高校生ボランティアサークル「かだんこの会」	地域行事の企画・運営等(とりきゃん△in 大鳥自然の家、月山あさひ雪まつり、チーム Wagesho 等)

◎助成金を申請していない団体でも、様々なボランティア活動に取り組んでおります。



パソコン要約筆記「はなまる」

「聴覚障がい者の情報保障のためのマルチ表示の研究」
 話し手、手話通訳、要約筆記の文字を同時に表示する仕組みづくりを行いました。

活動の中から紹介

朝日地域で行われる事業で、高校生が主体になって企画・運営し、一般スタッフとともに参加した小中学生に関わりました。

「自然体験とりきゃん△in大鳥自然の家」



高校生ボラ「かだんこの会」

「帯結びのオブジェ」を展示しませんか♡

～結美(ゆうび)の会より～

コロナ禍…福祉施設に何か協力したい！

昨年からのコロナ禍、各福祉施設ではボランティアの受け入れを自粛しているところがたくさんあります。そんな状況を見て、ボランティアサークル結美の会では、自分たちの活動を活かして、「結展・たんすの中の花展」と題して華やかなオブジェを展示し施設の皆様の目を楽しませてくれる取組を始めました。

◆展示の申込み先
 ボランティアセンター（電話 23-2970）
 受付後、結美の会から連絡いたします。

《ボランティア団体 結美の会について》
 福祉施設等で、「帯舞い」や「きもの3分着装」等を披露。また学校の家庭科で「浴衣着付け」指導、赤川花火大会に見学に行く人への「浴衣着付け」等を行っています。



パソコン要約筆記を体験できます！

～パソコン要約筆記「はなまる」より～

「要約筆記」は、病気や事故で聞こえを失った人や難聴者にとって重要な**文字の通訳**です。手書きとパソコンの2つの方法があり、鶴岡市にもそれぞれのボランティア団体があります。「はなまる」では、要約筆記活動に興味がある方が見学や体験ができる機会をつくっていますので、お気軽に連絡してみてください！



- ◆練習日 月2回(土曜日 13:30～15:30) ※開催日要確認
- ◆会場 鶴岡市総合保健福祉センター にこ♡ふる、又は第三学区コミセン
- ◆問合先 パソコン要約筆記「はなまる」
 メールアドレス pc.hanamaru@gmail.com

ボランティア活動保険について

ボランティア活動を行う方は、ボランティア活動保険に加入しましょう。令和3年度の「ボランティア活動保険」は手続き日の翌日から令和4年3月31日まで補償されます。申込先: ボランティアセンター、又は藤島、羽黒、櫛引、朝日、温海福祉センターへ

ちょボラ場予定

6月 2日・9日・16日
 23日・30日
 7月 調整中です

時間 10時～12時
 場所 にこ♡ふる

感染症予防に努めます！

《らくがき》 緑が増え、花が咲き、季節は流れて行く。変わらない生活様式。
 大好きな人たちと、何も気にせず過ごせる日々が1日も早く訪れますように。。。☆(I)

